

西郷隆盛とは①

- ①自ら決めて自分で動くひと
- ②でも、ひとの意見も聞くひと
- ③「お金」や「地位」にこだわらない
- ④体調があまりよくない
- ⑤功績(江戸城無血開城
廃藩置県、留守政府の時代(地租改正・徴兵令・学制を実行)

1

西郷隆盛とは②

- ①理想とする道徳観で行動
- ②度量の広い人物ではないかも
- ③反省する機会を得た島送り
- ④「お金」には細かい一面も
- ⑤謎の行動はふたつ
戦争回避の男が武力倒幕に
西南戦争の回避はできなかったのか

2

大久保利通

- ①少々他人にも自分にも厳しいひと
- ②家族の仕事が人格形成に影響
(祖父は科学者・父は外交官)
- ③難問をきっちりと対応してきたひと
- ④家族に対しては子煩悩(9人)
- ⑤立場上、仕事上、勘違いされることが多かったのでは

3

郷中教育の特徴

- ①段階・集団・鍛錬・実践教育
- ②詮議(品行を正し、利欲を去り、
公のために身を捧げる人材の育成)
- ③冷え物取りや幣立ての度胸試し
- ④妙円寺詣り、日新寺詣りなど遠行
- ⑤閉鎖性を解決する造士館、開成所

4

上野の西郷銅像①

- ①明治22(1889)年に大日本帝国
憲法が公布、逆賊の汚名が晴れて
正三位に追贈
- ②明治24(1871)年、銅像建造計画
宮内次官・吉井友実・海軍大将・樺山
資紀が中心となり発案
- ③明治天皇が500円御下賜

5

上野の西郷銅像②

- ①約2万5000人から寄付が集まる
- ②作者は彫刻家の高村光雲
木彫りの仏師のためはじめは木像
- ③木像は鹿児島の南洲神社の場所に
安置(戦争の空襲で焼失)
- ④始めは皇居近くの丸の内に計画
騎馬の軍服姿

6

上野の西郷銅像③

- ①ウサギ狩りの姿は従弟の大山巖案
- ②犬は動物彫刻の名人・後藤貞行
- ③犬のモデルは海軍大将・仁礼景範の愛犬とされている
- ④糸子夫人が除幕式で「うちのひとはこげんじゃなかった」
- ⑤似てないには容姿ではなく浴衣姿の無作法さ

7

鹿児島島の西郷銅像

- ①昭和2年の没後50周年に建立話
- ②制作は鹿児島出身の彫刻家安藤照(渋谷駅前の忠犬ハチ公像)
- ③制作構想に時間が掛かり、没後60周年に完成・建立
- ④軍服姿は習志野であった大演習の際の陸軍大将の姿

8

島津斉彬はどんな人物

- ①江戸生まれ、江戸育ち
- ②藩主就任が遅い
- ③富国強兵に取り組む
- ④日本のためにお金も使う
- ⑤人材育成は可もなく不可もなく
- ⑥集成館事業はすごい

9

島津斉彬の士風改革

- ①造士館の改革
15人の稽古扶持の支給
上級武士の次男以下の教員採用
教授陣の江戸などへの留学奨励
朱子学だけでなく日本の思想・伝統の学習(古典・律令格式・六国史など)
- ②郷中教育の改革
律儀と礼儀を重んじること
家庭教育の重要性・保護者の役割重視

10

島津斉彬の農政への姿勢

農は国之根本に候間、百姓不及困窮、追々戸口相増候様掛之人々日夜心掛、末々迄行届、勸農之文字に相叶候儀、可及吟味事、
(農業は国の根本であり、百姓が困窮せず人口が増えるように農政担当者が日夜心がけ、地方の末端まで指導し、勸農にふさわしいように念を入れること)

11

島津久光はどんな人物

- ①幼少期の境遇は不安定
- ②実質、お由羅のひとり息子
- ③兄、斉彬を慕う
- ④国父として藩政の実権を握る
- ⑤西郷とはウマがあわない
- ⑥「武士」としての頑固さを保持
- ⑦晩年は歴史の研究

12

小松帯刀から学ぶこと

- ①まさに藩政コーディネーター
(立場を理解した行動)
- ②近い女性を愛したこと
(お近への手紙には愛がある)
- ③戦争回避の道筋を模索、実践
(西郷ら以上に大政奉還を支持)

13

桂久武とはどのような人物

- ①桂久武は日置島津家の5男
- ②安政2(1855)年に桂家の養子に入る
- ③文久元(1861)年に大島警護と銅山管理
- ④西郷と行き違いとなり、愛加那などの世話を
する
- ⑤慶応元(1865)年に家老
- ⑥明治政府では都城県知事や豊岡県知事
- ⑦西南戦争は反対。でも西郷を見送りに行き、
そのまま従軍。城山の戦いで亡くなる

14

英国留学生の特徴

- ①発案の島津斉彬によるもの
- ②具体的な実現は五代友厚の建白
- ③きっかけは薩英戦争
- ④選抜がユニーク(門閥・家柄、開成
所のエリート、攘夷論者など)
- ⑤藩費によるもの、待遇も上級
- ⑥翌年のは米国にも留学生を派遣
- ⑦活躍の場はそれぞれ

15

五代友厚から学ぶこと

- ①家庭環境とチャンスを
しっかり生かしたこと
(学者の家、長崎遊学などを経験値に)
- ②自分の信念はしっかりと
伝えてきたこと
(時代のニーズを引き出す力)
- ③立ち位置を定めてからの徹底ぶり
(大阪を人生の場に定める)

16

坂本龍馬の魅力

- ①出自が商家・しかも下士であること
- ②ピストルを所持するも剣の達人
- ③勝海舟という師に恵まれたこと
- ④武士が船乗りになる柔軟さ
- ⑤「日本」を意識しての行動と動機
- ⑥「薩摩」と「長州」の間にいたこと
- ⑦ドラマ的な人生と死に方

17